

小田原ガイド協会だより

— OGO 第92号 —

NPO法人
小田原ガイド協会

小田原市城内 3-22 (〒 250-0014)
TEL.0465-22-8800/FAX.0465-22-8814

<http://www.odawara-gaido.com>

令和 4 年度を迎えて

巻頭所感

今後の活動を考える

小田原ガイド協会会長 堀池衡太郎

当協会は、前身の小田原ボランティアガイド協会創立から、ちょうど二十五周年を迎えました。四半世紀です。この機会に、協会の志(こころざし)や在り方を再認識し、独立性のある団体として、次世代が大いに活動できる、その礎を築く年度だと考えています。三年越しの感染症禍はまだ先が不透明で、今年度も新たな変異種が現れ、罹患者数の増減があると考えられます。このことを踏まえて活動することが原則です。

社会的に高齢化が進行し、当協会もその影響波が見られ、私が入会した当時の平均年齢は約六十八歳でしたが、十三年後のいま約七十四歳となっています。

しかし、「まだ出来る」と意欲を持つことで、精神的にも肉体的にも健康を保つ効果があると考えます。無理せず状況を認識し、協会員同士で協力し合い、誇りを持

って活動しましょう。

ガイド活動中の際には、正しい「姿勢」を維持し、聞き取り易い「発声」を心がけることも大事で、これらは次世代に引き継いでもらいたい基本事項です。

また、公民関連団体と共生していける良い関係を、今後も継続・発展するように努めます。

なお、今年度は「WEBからの申込みシステム」の構築を進めて行きます。この新システムの運用にあたっては、様々な諸問題が発生することも予想されるので、従来のFAX・電話申込も併用しながら、柔軟性を持つて取り組んでいきたいと考えます。

現在協会員は九十三名で、次年度に向けてのガイド養成講座は十四名が受講しています。これからの協会発展については、新しい会員が、先輩が築いてきた良い伝統を継承し、力を発揮してもらうことだと思えます。

新しい仲間が13人!

第10期養成講座修了生

昨年四月七日の開校からスタートし、座学・実地・自主研究と、一年間の講座を最後まで終えた十三人全員が入会となった。

(四〇五面でメンバー紹介)



入会式の様子 (令和4年3月14日)

◆企画ガイド◆

しだれ桜の荒井城址と

頼朝脱出の真鶴岩海岸

橘川 健人

寒の戻りか！数日寒い日が続き、期待していた荒井城址のしだれ桜はまだつぼみらしい。そんなことを思いながら真鶴駅でお客様をお待ちした。更に今日は北風も強く、半島部に行くと当然寒さが増すことになる。少しでも僕の熱弁で寒さを和らげることが出来るようスイッチを切り替える。

三々五々お客様が集合してくる。僕のスタート順は三番目。お客様が揃ったのでまず真鶴駅で本日のコース全般を説明し、次に特に本日熱く語る箇所を宣言した。①真鶴の溶岩 ②荒井城址 ③頼朝脱出の岩海岸 ④それと本日の為に用意した秘密の箇所と言うとお客様の目の色が変わった。

「秘密の箇所とは何処ですか？」とお客様から質問があったので「頼朝の気分が分かる場所です」とお答えする。「これで楽しみが増えたわ」と女性のお客様も気分が乗ってきた。駅から歩くこと数分で荒井城址に到着、この城址の

地形的構造と満開の紫木蓮を堪能、半島を横切り「鷗の岩屋」に向かう。予想通りお客様の反応はがっかり。ひと休み後、港を通り岩海岸に向かう。急な「背戸道」を登り切ると「東の道祖神」があり心癒やされる。岩海岸まで海山の眺望を楽しみながら歩く。やがてお目当ての岩海岸に到着



源頼朝が房総半島に向けて船出した真鶴岩海岸

する。「この浜から遙か六〇キロも先の房総半島に七人しか乗れない小舟で渡ったのですよ」と話すと一同大感激。「今日みたいな白波立つ日は無理ね」とお客様。海

を見ながら会話が弾む。

そして最後にとつておきの「如来寺跡」に到着。暗い岩窟をライトで照らし、頼朝も隠れた岩窟もこんなに暗く、この何倍も広かったと説明すると、「これなら「鷗の岩屋」も納得出来る」とお客様の歓声。お分かり頂いて良かったと思うガイドの僕でした。

◆企画ガイド◆

桜は満開だったのに……

大淵 敬三

四月三日(日)早川駅九時集合。出発の企画ガイド「名残の桜西海子小路文学散歩」。ポツリポツリと雨が降ったりやんだりの怪しい雲行きで、お客様もやや心が沈み気味のご様子。そこで、前日に撮影したほぼ満開となった西海子小路の桜の写真を見ていただき、少し前向きな気持ちになつて、いざ出発。



ほぼ満開 西海子小路の桜(前日撮影)

小田原漁港(新港)

近くの鈴木貫介の歌碑周辺からガンダムマンホールへ。雨が少し強くなってきたので、小田原漁港の屋根のある場所へ急ぎ、市場の入口付近で最初の休憩を取りました。掘り込み式の漁港を作ったために熱海往還が寸断されたこと、工期が十八年もかかり時の小田原市長、鈴木十郎氏の市長任期二十年のほとんどが漁港建設と重なったことなどをお話しし

てから早川を渡り、三好達治と坂口安吾旧居跡付近を通り西海子小路へ向かいました。

途中、平成輔の墓や北原白秋の住まいがあったとされるお花畑を通り、ようやく西海子小路に到着。桜の具合はというところやはり前日と比べると寒さのせいかわや縮こまって見えました。すぐに諸白小路を東海道方面に進み、引越した後の三好達治宅跡、花園幼稚園を見て西海子小路へ戻り、谷崎潤一郎、斎藤緑雨、小杉天外、村井弦齋、岸田國士、北条秀司などの旧居跡を確認しながらそれぞれの写真や代表作、エピソードなどを紹介しました。傘を差しながら手持ちで広げる資料をご覧いただくのに苦労していると、お客様が私の傘を持って下さり、助けてくださいました。

私のご案内はここまで。その後小田原市文化財課の鳥居紗也子氏による小田原文学館、当協会員案内の松本剛吉邸で終了となりました。この日の最高気温は10・5℃。冷たい雨の中、最後まで歩いていただいた方々に感謝します。おつかれさまでした

鎌倉殿 ゆかりの地

学んで歩く

曾我兄弟の仇討
ゆかりの下曾我

企画委員会 H K

石橋山の戦いに敗れ、真鶴・岩海岸から再起をかけて船出し、鎌倉幕府を開いた源頼朝。

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」の放映が始まり、ゆかりの観光地はコロナの事はあるものの盛り上がりつつある。シナリオ作家の三谷幸喜氏は放映開始前に、「本題は頼朝と北条義時の物語だが、曾我事件を避けて通るわけにはいかない」との記事を新聞に掲載した。そこでシナリオの原作ともいえる『吾妻鏡』の勉強をすでに始められていた文化財課の佐々木健策氏に依頼し「曾我物語の真実」をテーマに講演会を四月十日開催した。前半、浮世絵を使い曾我物語を紙芝居風に説明された。ここまでは単なる親の仇討の話であったが、後半は兄弟の系図、大河ドラマの人物関係図と俳優の写真、建久四年正月から八月まで何がおきていたか解説しながら徐々にテーマである物語の真実に迫り、聴講者から質問もでるなど大

いに盛り上がり、頼朝縁者としての源頼朝排除の話で講演が締めくくられた。

そして、講演会を聴講した参加者を中心に、四月二十三日・二十四日「曾我の里を歩く」企画ツアーを実施した。家紋へ庵に木瓜とへ鳥に蝶がデザインされた幟旗がなびく梅の里センターをスタートし、宗我神社と法輪寺と城前寺と小袖乞い伝承の地と満江御前の墓と流鏑馬の原梅林とたくさんのお曾我兄弟仇討ゆかりの地を足早に巡った。

参加者の多くは事前の知識もあり、ガイドの説明に熱心に耳をかけたむけ、メモを取ったり、各所の説明板を写真に収めたりされました。また、「梅まつりの時期でなくても曾我の里歩きは見所もたくさんあり充分楽しめるね」ととても喜んでいただき、うれしい一日となりました。



城前寺 曾我兄弟の像



います。屋号の「籠」の由来は、「商売が行き詰った時に助けてくれた籠屋さんの恩義と感謝の気持ちを忘れないように名付けた」と籠常の心が伝わる話を聞かせていただきました。

今回はかつおぶし博物館「籠常」を紹介します。「籠常」は鯉節と削り節一筋で製造販売を行っています。文化十一年（一八一四）に創業した、蒲鉾

の老舗「籠清」のかつおぶし部門を、籠清社長の弟・石黒常吉さんが明治二十六年に分離独立させて立ち上げました。現在の女性社長は四代目です。

古くは箱根地区の旅館・ホテル・小田原の料亭から、今は小田原市の学校給食・市立病院・老人ホームと昔にはなかった業態へと取引の幅を広げて

まち歩き

かつおぶし博物館

籠常

土井正代

お店に入れば、海から揚がったカツオが鯉節になる行程を丁寧に紹介してくれま

すが、今もほぼ同じ状態を保っています。入口引き戸の上にある箱は、早川観音（真福寺）からいただいた邪気が入らないようにと祀ったものです。店の近くに行くと削り節の香りが鼻をくすぐります。

がおすすめです。お客様のさまざまな要望に応えてくれます。関東大震災の一年後の建物で

小田原城址の野鳥

第四回 特別編

畠山 義彦



今回はこれまで紹介できなかった小田原城址で見られる野鳥について紹介します。

■カワセミ

コバルトブルーのその美しい姿はバードウォッチャーの間で



大賀ハスの上のカワセミ

も人気の的です。藤棚の脇で三脚付きのカメラをお堀の方に向けている人を見つけたら、レンズの先

の方向に目をやってください。カワセミの姿を見ることができると良いでしょう。

♂も♀も同じ美しい姿をしていますが見分け方は簡単です。黒い嘴の下側を、おしゃべりにオレンジの口紅で染めていれば早いです。このカワセミ、巣は土手などに横穴を掘って作ります。ひよつとしたら二の丸の石垣の隙間の穴を利用して見られるかもしれません。

■ヒレンジャク

カワセミに劣らぬ美しさを誇るのがこのヒレンジャク。目を横切り、頭の冠羽まで達する黒いラインは歌舞伎役者の隈取りのようです。シベリアからやってくる冬鳥ですが、冬ならいつ

二の丸堀の上のヒレンジャク



でも見られるかといえはさうではなく、年によって飛来数は大きく異なります。昨年の冬は尾の先が黄色い

キレンジャクと一緒にいる数十羽の群れを、学橋の上から二の丸周辺のソメイヨシノの枝の上で確認できました。ヤドリギなどの木の実を好んで食べます。

■カイツブリ

一年中、二の丸のお堀で見られる留鳥です。水面を泳ぐ姿は



二の丸堀を泳ぐカイツブリ

カモに似ていて小さいので、カモの子供と見間違えそうですが、カモの仲間ではありません。水

に潜って魚やエビなどを食べます。水に入る鳥ということからカイツブリは漢字で「鴉」と書きます。

■ツグミ

冬、馬屋曲輪などでその姿をよく目にします。昆虫や木の実などを食べます。秋にシベリアから日本海を渡って日本にやってきたときには、げっそりと痩せています。冬場にせつせと採食し栄養をつけ、春再びシベリ



馬屋曲輪のツグミ

アに飛び立つときは丸々と太っています。それほど飛ばず、何千kmに及ぶ飛行は大変だとい

■ヤマシギ

とある空堀でカサコソと音のする方に目をやるとヤマシギが落ち葉をひっくり返してミミズを食べていました。写真のどこにいるかわかりますか。じっとして



落ち葉に溶け込むヤマシギ

しているとその姿を見つかることは極めて困難です。神奈川県川島県レック

ドリストの非繁殖期における希少種に指定されています。保全のため、あえて場所は伏せさせていただきました。

■野鳥観察のマナー

綺麗な鳥や自分にとつてこれまで見たこともない珍しい鳥を見つけたときは、ついその野鳥に近づいてしまいがちですが、少し考えてみてください。

私たち自身、自分が快適に過ごすためには一定の空間が必要です。その空間に他の人が近づいてきたとき、親しい人なら構いませんが見ず知らずの人が近づいてきたなら警戒しますよね。それと同じように、自分に近づいてくる人間には警戒心を示します。

野鳥を観察するときは、遠くからそつと見守つてあげてください。

■おわりに

小田原城址には水堀、曲輪、空堀など様々な環境があり、そこにはこれまで紹介した野鳥の外にも様々な鳥たちが暮らしています。野鳥が暮らしていくためには最初に紹介した、採食・給水・休憩・営巣の4つの条件のどれが欠けても生きていくことはできません。

いつまでも豊かで多様な環境のある小田原城址であつてほしいものです。

リレーエッセー／わたしの城旅⑬

小田原合戦の きつかけとなつた名胡桃城

小針達夫

私は日本百名城のスタンプ帳を片手に城巡りをするのが趣味で、移動はもっぱら交通費節約のため青春18切符を使用する事が多い。今回の名胡桃城も小田原から上越線後閑駅まで四時間半かかったが、乗り鉄であるため何も苦にならない。ちよつとお尻が痛いだけである。お城までの道すがら、初老の男性が歩いていたので声を掛けると、城巡りのベテランで、神戸から来られたとのこと。すぐに意気投合し、お城談義をしながら名胡桃城に到着した。



名胡桃城 二郭南側虎口

搦手門から、ささ郭—本郭—二郭—三郭の主要部分が直線に並び、各郭は堀切で分断され、さらに急な崖や土塁、柵、櫓で守られている。こんな堅固な守りでは絶対に正攻法では攻め落とすことができないと思つたが、北条軍が攻略できたのは真田軍内の裏切りがあつたとの伝があり、やはり正攻法ではなかつたか…。

また三郭の南には武田の城に特徴的な丸みを帯びた丸馬出が設けられており、以前見学した埼玉の鉢形城の角馬出と比較し違いを実感した。城址を見学後、先の男性と合流し駅に向う。食べたかつた上州名物焼きまんじゅう屋や食堂はなく、駅前コンビニで弁当を買ひ駅待合室での昼食となつた。お互いスタンプ帳を見せ合い、

【三月以降の退会者】

- 渡會 晃さん
- 井上かほるさん
- 森尻義雄さん
- 畠山義彦さん

ありがとうございました

【編集後記】

■新型コロナウイルスが鎮まらない中で、ロシアによるウクライナ侵攻が起こり世界が騒がしい状態が続いている。真偽不明な情報も流れているので、より正しい判断・対応が求められるが、この状況を乗り越えて良き未来を見たいと思う。

■OGOは一昨年84号からカラー化で写真が映えるようになり、89号からの野鳥シリーズや前91号のマンホール蓋なども協会内外から好評を得ている。

今後の企画に対して要望や意見をいただけると嬉しく思います。

【編集委員】

- 飯田宗男 磯崎知可子
- 上田信一 柏木由美子

令和4年度賛助会員

賛助会員のお店は皆様をお待ちしています！

賛助会員の皆様にはガイド協会の活動に賛同しご支援を頂いています。

賛助会員の詳細は小田原ガイド協会HPをクリックしてください。

<http://www.odawara-gaido.com>

☎ 0465-

☎ 0465-

朝ドレファ〜ミハルネ店 23-3100	せきしん運輸 42-7375
鯨 壺 北 條 080-5465-0066	田 毎 24-3030
伊 勢 屋 22-3378	田中屋本店 22-5545
ういろう 24-0560	だるま料理店 22-4128
魚市場食堂 23-3818	欄干橋ちん里う 22-1547
江 嶋 22-1661	露木木工所 22-5995
小田原種秀本店 22-6238	東 崑 庵 22-4657
小田原箱根商工会議所 23-1811	烏 かつ 楼 22-2078
籠 清 22-0251	菜 の 花 24-5688
籠 常 商 店 23-1807	箱根屋酒店 22-4616
柏木美術鋳物研究所 22-4328	小田原早川漁村 24-7800
カネタ前田商店 23-4741	平 井 書 店 22-5370
甘味処 鎌 倉 20-4475	松崎屋陶器店 24-2479
居酒屋 金 時 23-0721	マツシタ靴店 24-2233
食事処 幸 繁 22-5155	丸 う 23-0830
グリル 木の实 22-2912	万 葉 の 湯 23-1126
さがみ信用金庫 24-3161	柳屋ベーカリー 23-2342
志村屋米穀店 24-2224	山市湯川商店 22-5637
杉 兼 商 店 22-5051	山 安 21-1137
鈴木製館所 22-3520	R Y O 20-0077
鈴廣かまぼこ 22-2333	

【50音順】